東成瀬 図書館だより

2021. 6月号　No.71　発行　東成瀬公民館図書室
〒019-0801
秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字上野8-1
TEL 0182-38-8711　FAX 0182-38-8712
E-MAIL　narusejidoukan@carol.ocn.ne.jp

☆令和３年７月の特集＆新着案内☆

＜一般書＞

☆「 〝魔滅〟に暮らそう 」

眠れなくなるほど面白い図解自律神経の話　小林 弘幸
感染症に負けない、カラダをつくる。　Dr.クロワッサン
マンガでわかる！認知症の人が見ている世界　川畑 智
74 歳、ないのはお金だけ。あとは全部そろってる　牧師 ミツコ
倚りかからず　茨木 のり子
人間の土地へ　小松 由佳
欲が出ました　ヨシタケシンスケ
多年生雑草対策ハンドブック　伊藤 操子
わかる！使える！外来語辞典　増井 金典

＜児童書＞

☆「 夏がやってきた！ 」

もりの 100 かいだてのいえ　いわい としお
にくにくしろくま　柴田 ケイコ
はなくそ だいピンチ！　マルジック＆モリソー
はなくそ ゆうかいじけん　マルジック＆モリソー
地球破壊モンスターから地球を救おう　マリー・G・ローデ
小説 はたらく細胞 全３巻　時海 結以
二平方メートルの世界で　前田 海音
いろんなきもち　エリノア・グリーンウッド
渋沢栄一～日本経済の父と呼ばれた男　香川 まさひと
から紅の恋歌～名探偵コナン　青山 剛昌

◇今月のオススメの一冊◇

『毎朝 10 秒！楽しく お天気ストレッチ』

片岡 信和 ／ 著

朝から元気にエイエイオー！ストレッチ！「羽鳥慎一モーニングショー」お天気コーナーの〝ワンポイントストレッチ〟が一冊に！
どんな動きかが一目で分かる、動画に飛べるQR コード付き！
春夏秋冬の天気がもたらすストレス・だるさをふきとばす、面白ストレッチ 48 を収録！



『カメレオンのかきごおりや』

谷口 智則 ／ 著

カメレオンは旅するかき氷屋さん。いろいろな場所でいろいろな色に変わるカメレオン。ぼくっていったい何色なんだろう…
カメレオンのそんな悩みや優しさに心が震える絵本。



＊この他にも多数取り寄せております。　電話で予約できますのでお尋ねください。

☆図書室利用案内☆

７月の休館日

４日 （第１日曜日）　18 日（第３日曜日）
22・23 日（祝日）

★休館日の本の返却はブックポストへお願いします★

開館時間　午前９時３０分～午後５時３０分
休 館 日
・第１日曜日　・第３日曜日
・第５日曜日　・祝祭日
・年末年始

図書の貸出　１０冊まで
視聴覚資料　３点まで（ＤＶＤ・ＣＤ・ビデオ）
貸出期間　３週間



お知らせ

ご利用ください！ やまゆり文庫

やまゆり温泉ホテルブラン１階の図書コーナー〝やまゆり文庫〟には、料理・健康などの雑誌の他、気軽に読めるコミックエッセイや文学賞受賞作品を含む小説、また絵本など幅広い年代の方に楽しんでいただける本を常時 100 冊ほど展示しております。

ご入浴の休憩や宿泊の際に、
どうぞご利用ください。



―第２回―

わたしのとっておきの一冊

教育長　鶴飼　孝さん　からの　オススメ

「ギリシアの物語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」　塩野　七生　／著
新潮社



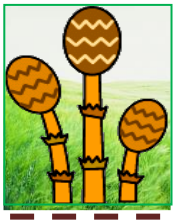
この物語は、少数兵力で巨大ペルシア帝国を破り、ギリシアに誕生した民主政の実像を「Ⅰ.民主政のはじまり」「Ⅱ.民主政の成熟と崩壊」「Ⅲ.新しきの全３巻にわたって描いた西洋史です。

文章量が多く、地名や人名にカタカナが多く使われていて、多少読みにくく感じる部分もありますが、心に残るものが多い物語です。

昨今、「民主主義」という言葉がよくマスコミで取り沙汰されています。民主主義の始まりの頃の様子にふれることができる本だと思います。



❁ぜひ一度読んでみてください



読みかたりグループ「つくしんぼ」コーナー

たなばたおはなし会
７月　３日（土）
午前10:30～11:00

会員のつぶやき！

つくしんぼ会員　柴田　多鶴子



４月の中旬だったでしょうか、Ｅテレで「己の影を抱きしめて」と題して、翻訳家で児童文学研究者の清水真砂子さんの番組を拝見しました。私が清水さんに会ってお話しさせていただいたのは 20 年以上前。お歳を召したな…という印象でしたが、同じ分私も歳を重ねたわけで、改めて彼女の言葉の一つ一つに重みを感じ、また共感しました。

特に印象深かったのは、大人はどんな絵本を子どもたちに読んであげているのか？美しいお話、優しいお話、温かいお話…果たしてそれだけでいいのか？との問いかけ。

彼女はご自分が小学生の時に「レ・ミゼラブル」を読んだ体験（驚き！）を話しながら、こう結んだのです。「ああ、こんな意地悪な心、私にもある」「こんな嘘、ぼくもついたことがある」…そんなふうに自分の中にある「影」を自覚することが子どもたちには必要であり、また本の役割でもある、と。だからこそ、清水さんは教師を辞め 30 年をかけて「ゲド戦記」を翻訳したのかもしれません。

ただただ耳に心地よい絵本ばかりを読み聞かせるのではなく、時折、スパイスのような絵本（道徳教育的視点ではない）を選べる知識と、勇気と、信念を持ちたい、とつくづく思いました。